

2月定例市長記者会見次第

日時：平成30年2月14日(水) 午後0時30分～／場所：庁議室

1 開会

2 市長話題提供

- ① 平成30年度市長施政方針について 【市長政策室】資料1-1

3 報告事項

- ① 掛川市ICT部門業務継続計画（ICT-BCP）の策定について 【IT政策課】資料2-1
- ② 「徘徊高齢者伝言板システム」の導入 【健康長寿課】資料2-2
～認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていくために～
- ③ 掛川市と株式会社杏林堂グループ・ホールディングスとの 【健康づくり課】資料2-3
包括連携に関する協定締結について
- ④ 「土木インフラの協働による維持管理に関する協定」の締結について 【維持管理課】資料2-4

4 主な行事について

- ① 第9回都道府県対抗トランポリン競技選手権大会 【スポーツ振興課】資料3-1
と き：2月16日(金)～18日(日)
ところ：さんりーな
- ② 環境学習会 in NECプラットフォームズ 【環境政策課】資料3-2
と き：2月17日(土) 9:00～12:00
ところ：NECプラットフォームズ
- ③ 平成29年度「はばたけ未来の吉岡彌生賞」表彰式(第2回) 【教育政策室】資料3-3
と き：2月18日(日) 13:30(開会)
ところ：東京女子医科大学 大東キャンパス大教室
- ④ 掛川市立千浜小学校 屋内運動場 落成式 【学務課】資料3-4
と き：2月20日(火) 10:00(開式)
ところ：掛川市立千浜小学校 新屋内運動場
- ⑤ 原子力講演会 【危機管理課】
と き：2月20日(火) 14:00～
ところ：菊川文化会館アエル

- ⑥ 第24回環境を考える市民の集い 【環境政策課】 資料3-5
と き：2月24日（土）9:30～11:40
ところ：生涯学習センター
- ⑦ 60歳の集い 【社会教育課】
と き：2月25日（日）13:30～16:40
ところ：掛川グランドホテル
- ⑧ 二の丸美術館展覧会 【文化振興課】 資料3-6
木下コレクション「工芸品をたのしむ～小さきものみな美し～」
と き：3月3日（土）～4月15日（日）
ところ：二の丸美術館
- ⑨ 平成29年度 掛川市津波避難訓練 【危機管理課】 資料3-7
と き：3月11日（日）9:00～10:30
ところ：大東・大須賀区域の一部
- ⑩ 新幹線掛川駅開業30周年記念事業 【企画政策課】 資料3-8
- ◆お掃除大作戦
と き：3月11日（日） 8:30～10:00
ところ：掛川駅周辺
 - ◆新幹線掛川駅開業30周年記念式典
と き：3月13日（火）10:30～12:00
ところ：掛川市役所4階会議室1
 - ◆新幹線掛川駅開業30周年記念イベント
と き：3月17日（土） 9:00～12:00
ところ：駅前通り

5 議会日程

2月定例会 2月21日（水）～3月22日（木） 日程表参照

6 質疑応答（進行：幹事社 テレビ静岡・朝日新聞）

7 閉 会

次回定例市長記者会見 3月14日（水） 午前9時30分～ 庁議室

平成30年度 市長施政方針 概要

1 協働のまちづくりのさらなる推進

- ・ 地区まちづくり協議会や地区の稼ぐ力や課題解決の手法を多様化し、実力を底上げ。
- ・ 市民力、地域力により、生活支援、子育て支援、防災対策などの課題を解決。

2 シティプロモーション

- ・ 3月に策定する推進計画により、市民総ぐるみで、戦略的なシティプロモーションを実践。
- ・ 掛川の「ブランドメッセージ」や「ブランドロゴ」を活用した取組み。

3 働き方改革

- ・ 在宅勤務やサテライトオフィス、時差勤務の取組みなど、さらなる効率的な働き方に資する環境や制度を整備。
- ・ 職員の意識改革と業務のスクラップを促進。

4 しごとづくり

- ・ 上西郷工業団地、大坂・土方工業団地への積極的な企業誘致、新エコポリス第3期は民間活力導入による推進。
- ・ 創業や業務拡大への支援、中小企業の就業者の確保などの対策を推進。

5 子育て支援

- ・ (仮称)大坂認定こども園の建設工事に着手し、他の4園の認定こども園も準備促進。
- ・ 認可保育所の増設、病児保育の施設整備に対する支援。
- ・ 発達相談支援センターの開設、子ども医療助成事業の未就学児通院無料化の拡充など、子育て環境の充実。

6 小中一貫教育の推進

- ・ 義務教育9年間を見通した、掛川ならではの教育課程を編成。
- ・ 原野谷学園及び城東学園の指定研究校で、目指す子ども像と学校のあり方を地域と検討。

7 観光振興

- ・ ラグビーワールドカップの対応などを含めたインバウンド対策や、「つま恋」の世界的リゾートに向けた協力。
- ・ 観光基本計画の策定、日本遺産を目指した取組み。

8 多極ネットワーク型コンパクトシティ構想

- ・ 地域の拠点に一定程度の都市機能を集約し、交通ネットワークにより拠点同士を繋ぐ、多極ネットワーク型コンパクトシティ構想を推進。

9 行革・公共施設マネジメントの推進

- ・ 将来の最適なサービスのあり方を見据えて、公共施設の最適配置を本格検討。

定例記者会見
平成30年2月14日
I T 政策課

掛川市 I C T 部門業務継続計画（I C T - B C P）の策定について

【事業目的】

大規模な災害の発生時においても非常時優先業務を継続し、復旧・再開するための計画（業務継続計画）を実行するには、業務を支える情報システムの稼動が不可欠であることから、平時より対策を講じるとともに、災害時の業務継続・早期復旧を図るための I C T 部門の業務継続計画（I C T - B C P）を策定する。

【事業概要】

(1) 平時

- ・市情報セキュリティ委員会による推進体制の組織
- ・非常時に復旧を優先する情報システムの優先度及び目標復旧時間の設定
- ・復旧・運用に必要な資源（設備資材、要員等）の把握、バックアップ等の事前準備
- ・災害対応力を高めるための定期的な訓練の実施
- ・訓練やセキュリティ点検等の機会を通じた計画の見直し

(2) 災害時

- ・災害対策本部体制下における I C T - B C P 実施グループの組織
- ・初動対応、時系列ごとの復旧手順に基づく復旧計画の実施

※ 詳細は I C T - B C P 概要版（別紙）のとおり

【計画の位置づけ】

上位計画である掛川市業務継続計画の個別計画であり、掛川市地域防災計画や掛川市情報セキュリティポリシー等、関係する他の計画と連動する。

【計画の策定年月日】

平成30年2月8日（木）

【計画の公表】

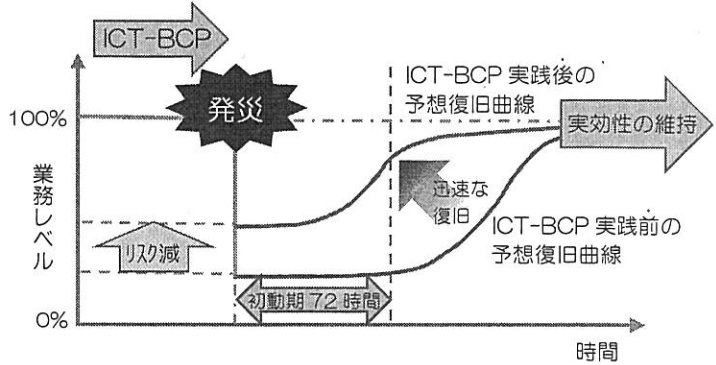
市ホームページにて計画書・様式集の電子版を公表

担当者名	情報システム係 土屋信二郎・堀川富佐次
電話番号	21-1134

掛川市 ICT 部門業務継続計画 (ICT-BCP) 概要版 (平成 29 年度)

1 掛川市 ICT 部門業務継続計画 (ICT-BCP) とは

- 掛川市の行政サービスの実施・継続は、その多くを情報システム (ICT) に依存しているため、災害時には概ね発災から 72 時間以内に、業務復旧行動が行える体制を整備する必要がある。
- 本計画は、災害時において業務継続上重要な ICT 資源に対する被害を最小限にとどめ、業務の継続と早期復旧を行うための行動計画である。
- 本計画は、掛川市業務継続計画の個別計画として位置づけられ、関係する他の計画と連動する。

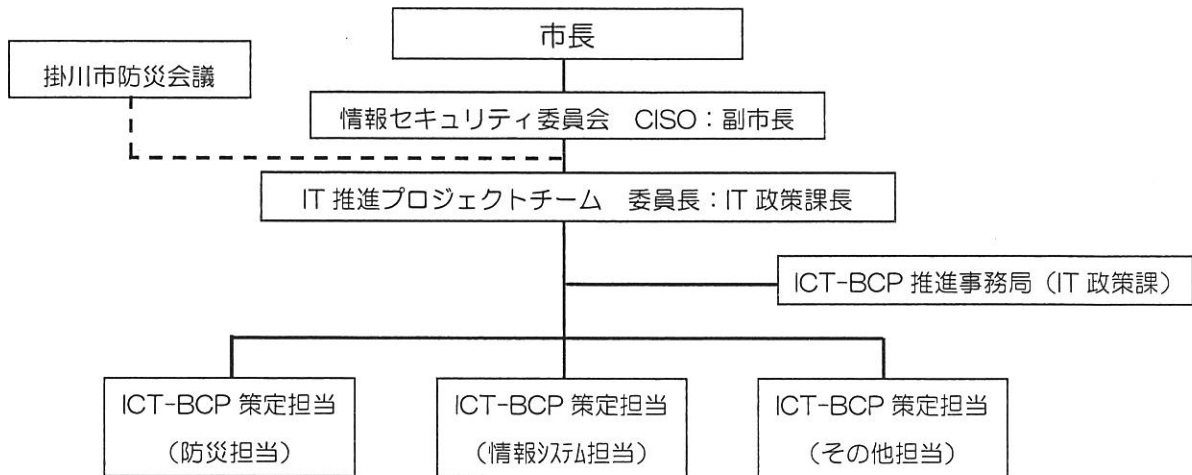


2 計画の対応方針

安全の確保	災害時の業務復旧にあたっては、住民及び職員の <u>生命、身体及び財産の安全確保</u> を第一とし、非常時優先業務の遂行に全力を挙げる。
優先業務の早期復旧	住民の安全確保、生活及び経済活動の基本的部分の <u>早期復旧</u> に必要となるシステム・インフラを最優先で復旧する。
平常時の備え	定期的に取り組状況を評価するために、毎年の <u>定期見直し</u> を行うほか、市 ICT-BCP に影響する範囲に変更があった場合にも適宜見直しを行う。

3 平常時における推進体制と運用体制

- CISO (副市長) を中心とした市情報セキュリティ委員会による推進体制により実施する。
【体制組織図】



- 定期的な見直し：市内外の環境の変化に対して常に最新の状態を保ち、実効性を維持する。
- 定期的な訓練：災害対応力を高め維持するため、防災訓練や停電試験等と併せ実施する。
- 本計画の保管：IT 政策課 (計 8 部)、危機管理課 (5 部) に紙ベースで保管・所持する。

4 重要情報システム及び資源の現状と事前対策

- 業務の重要度およびシステム依存度に関する評価を行い、対象となる重要情報システムの復旧優先度および目標復旧時間を把握する。
- 重要情報システムの運用に必要な資源（設備、資材、要員等）の状況を把握し、必要な事前対策計画を作成する。

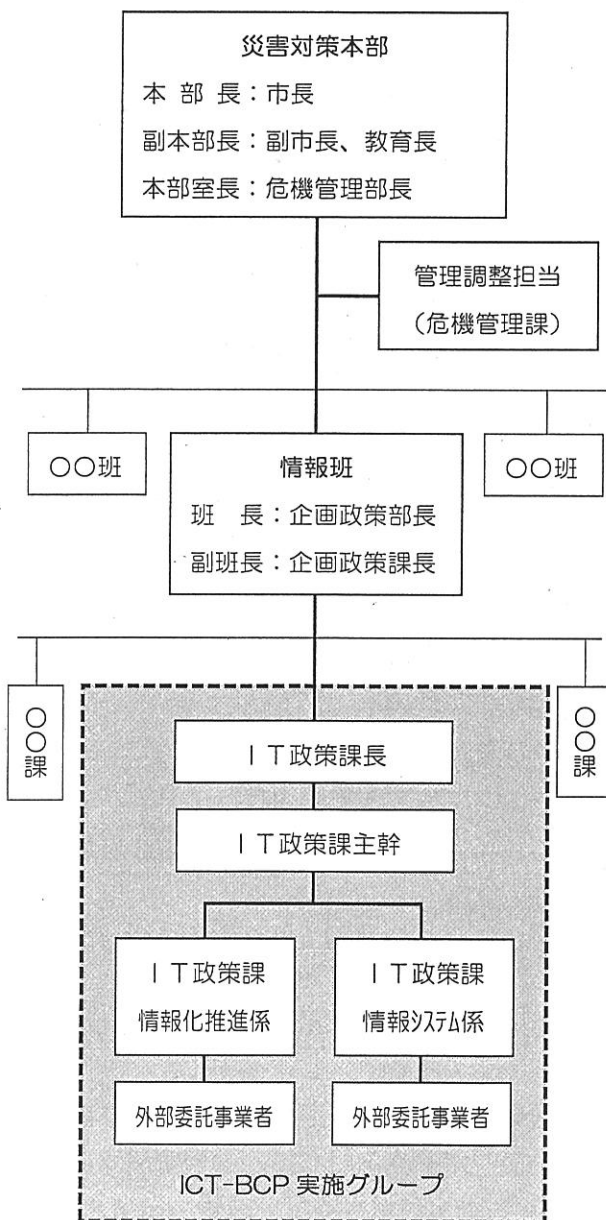
5 被害想定

- 掛川市業務継続計画に準じ、南海トラフ巨大地震（マグニチュード9程度）を想定する。
- 本庁および大東、大須賀支所における庁舎内と周辺インフラ等における被害を想定する。

6 緊急時対応および復旧計画 **有事対応**

- 本計画発動時における体制は、掛川市災害対策本部の体制に基づき、情報班の情報担当業務を担う。システム障害発生の際は、IT政策課が中心となり機器等の動作確認、復旧活動を行う。

【体制組織図】



【復旧計画フロー】

発災後時間	IT政策課長	IT政策課職員
発災直後	<ul style="list-style-type: none"> ・自身および家族等の安全確保 ・参集場所への避難 ・自身の安否と参集予定時刻の報告・把握 	
3時間 (6時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・要員の安否報告 ・電算室の被害報告 ・初動体制の指示 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全の確保 ・参集状況の報告 ・被害状況の把握
12時間 (15時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・本部の指示伝達 ・本部へ機器の動作状況を報告 ・他部門との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT資源の確保 ・機器の動作確認 ・不足機器の報告 ・業者の支援要請
17時間 (20時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧優先度Sのシステムの立ち上げ指示及び報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧優先度Sのシステムの復旧 ・必要台数の確保
24時間	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧優先度Aのシステムの立ち上げ指示及び報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧優先度Aのシステムの復旧 ・必要台数の確保
72時間	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧優先度Bのシステムの立ち上げ指示及び報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧優先度Bのシステムの復旧 ・必要台数の確保

※ ()内の時間は就業時間外の発災の場合

※ 復旧優先度別のシステム

- ・S：インフラ（ネットワーク等）、災害関係
- ・A：ホームページ、グループウェア、ファイルサーバ等
- ・B：重要システム、セキュリティ関係等

平成30年2月14日
健康長寿課

「徘徊高齢者伝言板システム」の導入 ～認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていくために～

認知症による徘徊行動がある高齢者が、徘徊発生時に速やかに家族の元に戻ることができるよう、二次元コードが印刷された見守りシールを利用した、新たなシステムを導入します。

1 内 容 今回、掛川市で導入する「徘徊高齢者伝言板システム」では、二次元コードの印刷されたシールを徘徊行動がある高齢者の家族に事前配布し、徘徊が発生したときには、徘徊している高齢者の発見者が二次元コードを読み取ると伝言板が表示され、発見者が現在の居場所等を入力すると家族宛にメールを自動送信。発見者と家族の双方で直接やり取りできるため、24時間 365日いつでも素早く高齢者を迎えに行くことが可能となります。

2 配布対象 市内に住所を有し、下記①から③のいずれかに該当する高齢者

- ① 介護保険法に規定する要介護者又は要支援者で、徘徊行動のあるもの
- ② 医師により認知症と診断されたもの
- ③ ①及び②に掲げる者に準ずる者として市が認めたもの

3 配布内容

耐洗コードラベル（衣類アイロンプリントタイプ、2. 5 cm × 5 cm）・・・30枚
蓄光シール（シールタイプ、2. 4 cm × 4. 5 cm）・・・10枚



4 導入時期

平成30年2月から

5 周知方法

広報かけがわで市民へ向けて事業PRをするとともに、区長会や民生委員児童委員の他、警察や消防に対しても、周知・協力依頼し、より効果的に活用できる体制づくりを進めます。

また、既に市やふくしあ（地域包括支援センター）が支援をしている徘徊高齢者に対しては、訪問時等に直接事業の説明を行い、利用を促していきます。

担当者名 太田光昭・森下裕
電話番号 21-1142

定例記者会見
平成30年2月14日
健康づくり課

掛川市と株式会社杏林堂グループ・ホールディングスとの 包括連携に関する協定締結について

この度、株式会社杏林堂グループ・ホールディングス様と包括連携協定を締結することとなりました。

つきましては、下記のとおり協定締結式を開催します。

記

日 時 2月19日(月) 午後5時～午後5時30分

会 場 掛川市役所 庁議室

内 容 ○包括連携協定の締結
連携事項 健康増進、食育推進、災害対策及び防災
子育て支援、高齢者・障がい者の支援、地域活性化など

健康増進の具体的な内容

- ・市内各地区での健康測定会や健康セミナーの実施
- ・健康フェアに、杏林堂ブースを設置
(体組成、骨密度測定等の健康チェックは人気のコーナー) など

事業の概要

- ① 目的 包括連携協定の締結により、相互連携を強化し、掛川市民の健康増進、食育推進及び地域の活性化に資することを目的とする。

掛川市総合計画の施策である協働による健康づくり「かけがわ生涯お達者市民」推進プロジェクトの目標である「お達者度県下NO1」「お達者市民が大勢いるまち掛川」をいっしょに目指す。

担当者名 佐藤亜紀子・藤田学
電話番号 23-8111

定例記者会見
平成30年2月14日
維持管理課

土木インフラの協働による維持管理に関する協定締結について

この度、市内の建設業三組合と土木インフラの維持管理に関する協定を締結することとなりました。

つきましては、下記のとおり協定締結式を開催します。

記

日 時 3月2日（金）午前9時 開式

会 場 掛川市役所 庁議室

内 容 掛川市地域SNS『eじゃん掛川』を活用し、道路等の土木インフラの異常箇所等についての情報提供に関する協定を市内建設業三組合（掛川建設業協働組合、大東町建設事業協同組合、大須賀町建設事業協同組合）と締結する。

事業の概要

本市では安全で快適な土木インフラ環境を目指して、本市が定期的実施する道路パトロールや市民からの情報により、異常箇所の早期発見と、補修作業に努めている。

この度、更なる維持管理体制の充実を図るため、技術的に優れた知識を有する市内の建設業組合との協働により、土木インフラの異常箇所等についての情報提供に関する協定を締結し、本市の土木インフラのより一層の安全確保に努めるものとする。

担当者名 赤堀順通・松田靖志
電話番号 21-1154

定例記者会見
平成30年2月14日
スポーツ振興課

第9回都道府県対抗トランポリン競技選手権大会の 開催について

表題のことについて、大会期間中の取材方よろしく申し上げます。

- 1 目的 本大会は、小学生から大学・社会人のトップクラスの選手が参加し、市内はもとより県内のトランポリン競技の普及発展に大きく寄与している。全国から多数の大会関係者が当市を訪問するため、地域の経済波及効果も得ることができる。今後もさらなるトランポリン競技の普及発展と経済波及効果の増加、2020年東京オリンピック合宿誘致・世界で活躍する選手の育成を目指す。
- 2 期 日 平成30年2月16日（金）～18日（日）
- 3 会 場 東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」
- 4 主 催 掛川市 公益財団法人日本体操協会
- 5 主 管 都道府県対抗トランポリン競技選手権大会開催実行委員会
- 6 内 容 (1) 個人競技
10歳以下の部 男・女
11-12歳の部 男・女
13-14歳の部 男・女
15-16歳の部 男・女
17歳以上の部 男・女
オープンの部 男・女（年齢区分をオープン抽出・決勝のみ）
(2) 都道府県対抗競技（個人競技予選のポイントで決定）総合
以上13部門
- 7 日 程 2月16日（金） 11：00～公式練習
17：30～開会式
2月17日（土） 9：30～予選
2月18日（日） 9：00～市民体験会
10：00～決勝トーナメント
16：00～閉会式・表彰
- 8 参加者 93団体 483人
- 9 その他 取材にあたっては、あらかじめ公益財団法人日本体操協会への報告が必要となります。取扱については、別添を御覧ください。

担当者名 富田徹・川隅彩
電話番号 21-1159

本会が主催・主管する競技会・演技会では報道関係者の取材撮影は以下のとおりとします。ただし、国際体操連盟が主催する競技会はその定めに従います。関係者のご理解ご協力をお願いします。

I. 本会が主催・主管する競技会・演技会における撮影の制限

1. 対象

報道関係の撮影者の資格は、運動記者クラブ、写真記者協会、日本雑誌協会、国際スポーツ記者協会、日本スポーツプレス協会、スポーツニュース協会、テレビニュース映画協会の加盟会員者を原則とします。上記以外の方は、公益財団法人日本体操協会へお問い合わせください。

2. 取材申請

取材申請は、原則として所定書式に従った事前申込とします。なお、上記対象以外の方は当日受付できませんのでご了承ください。

所定書式は『日本体操協会取材申請書』を御利用ください。

公益財団法人日本体操協会ホームページからもダウンロードできます。

3. 受付手順

当日、会場受付で身分を証明するものを提示して受付してください。なお、取材中は許可証を目立つところに付け、定められた場所での撮影をお願いします。また、大会運営に支障をきたさぬようご配慮ください。

4. 上記の事項が遵守されない場合には撮影をお断りすることがあります。

日本体操協会 取材申請書

第9回都道府県対抗トランポリン競技選手権大会

受付時間：16日 16時～ / 17日・18日 9時～

会社名		TEL	
部署（媒体）名		FAX	
申請者	Ⓜ	E-mail	
住所	〒		
掲載（OA）・使用 予定日	年 月 日（ 号 ・ 発売 ・ 放送）		

該当する区分 に【○】をお 付け下さい。	運動記者クラブ	写真記者協会（フォト）	FPIJ/FPC
	スポーツニュース協会	日本雑誌協会	その他の媒体（新聞・雑誌）
	日本スポーツプレス協会（AJPS）	フリーランス（記者）	フリーランス（フォト）

*その他の媒体・フリーランスの方は、下欄にもご記入ください。

出版社名		編集部担当者名	Ⓜ
掲載媒体名		編集担当連絡先	Tel FAX
		掲載予定日	

取材者氏名 (注：判読できるようご記入ください)	所属部署（新聞・テレビ 等）	所属・希望カテゴリ (カテゴリを○で囲ってください)			取材希望日 (○をお付けください)			
					11/11	11/12	11/13	
		記者・TVラ ジオ関係	フォトグラ ファー	ENGスタッフ				
		記者・TVラ ジオ関係	フォトグラ ファー	ENGスタッフ				
		記者・TVラ ジオ関係	フォトグラ ファー	ENGスタッフ				
		記者・TVラ ジオ関係	フォトグラ ファー	ENGスタッフ				
		記者・TVラ ジオ関係	フォトグラ ファー	ENGスタッフ				
		記者・TVラ ジオ関係	フォトグラ ファー	ENGスタッフ				
		記者・TVラ ジオ関係	フォトグラ ファー	ENGスタッフ				

※取材申請者の枠が足りない場合は、この用紙をコピーしてお使いください。

※本会報道関係者の撮影規制に従い、また、主催・主管団体の指示に従うことを約束し、申請いたします。

申請者署名

※会場には、無線・有線LAN設置がございません。

※貴重品、機材は自己責任で管理して下さい。

※アリーナ内は土足禁止ですので、中靴をご用意ください。その際はヒール無いものをご用意ください。

お問い合わせ先： 公益財団法人日本体操協会 玉川久根 E-mail tamagawa@jpn-gym.or.jp

親子で楽しく学ぼう!

環境学習会 in NECプラットフォームズ

地球温暖化のこと、NECの環境へ配慮した取り組みについて、楽しく学べる大好評企画!!今年も内容盛りだくさんです。みなさんのご参加をお待ちしています。

日 時 平成30年2月17日(土) 午前9時~12時

会 場 NECプラットフォームズ(株)掛川事業所
掛川市下俣800番地

内 容 ①工場施設見学
エコパーク等を見学し、環境に配慮したNECの事業活動について学びます。
ドローンで空から工場を見てみよう!



【ドローン】

②親子で工作
ソーラーパネルが動力の模型を組み立てよう!

③環境学習・クイズ
地球温暖化など環境に関するクイズに挑戦!
たくさん正解できたら、おたのしみが...



【環境クイズの様子】

参加費 無料

対 象 小学生とその親子など20組
(申込順: 家族単位での事前申込)

主 催 掛川市環境政策課
NECプラットフォームズ(株)掛川事業所

申込方法 2月9日(金)までに、①氏名②学年・年齢③住所
④電話番号 を下記までご連絡ください。

お申し込み・お問い合わせ先 / 掛川市環境政策課
電話 0537-21-1218 (環境政策係 担当: 青木)
Eメール kankyo@city.kakegawa.shizuoka.jp

定例記者会見
平成30年2月14日
教育政策室

平成29年度「はばたけ未来の吉岡彌生賞」表彰式(第2回)について

日本の女性医師育成に尽力し、その礎を築いた郷土の偉人、吉岡彌生先生の業績を称え、次代を担う児童・生徒の皆さんによる夢と希望に満ちた研究作品を募集し、応募のあった136点の研究作品の中から入賞を果たした19作品の表彰式を開催します。

- 1 日 時 平成30年2月18日(日)
開場：午後1時 開会：午後1時30分
(～午後2時45分頃までの見込み)
- 2 会 場 東京女子医科大学 大東キャンパス (掛川市下土方400-2)
大教室

3 式典概要

入賞者に、賞状及び副賞品を授与

- 最優秀賞→ 小学生の部 1作品、中学生の部 1作品、高校生の部 1作品
- 優 秀 賞→ 小学生の部 1作品、中学生の部 1作品、高校生の部 1作品
- 奨 励 賞→ 小学生の部 5作品、中学生の部 3作品、高校生の部 5作品

※小学生の部、中学生の部、高校生の部における各「最優秀賞」受賞者から、研究の概要、取り組みの動機や目的、成果等を各3分間程度で発表

担当者名	鈴木純一・石山尚哲
電話番号	21-1109

事業概要

(1) 事業趣旨

日本の女性医師育成に尽力し、その礎を築いた郷土の偉人、吉岡彌生先生の業績を称え、次代を担う児童・生徒の皆さんによる夢と希望に満ちた研究作品を募集する。
(市内児童・生徒をはじめ、全国を対象)

(2) 主催者

掛川市、掛川市教育委員会、東京女子医科大学

(3) 後援

一般社団法人至誠会、公益社団法人日本女医会、一般社団法人小笠医師会、鷲山医院

(4) 募集作品

医療・看護、健康・福祉、理科、環境等に関する研究、論文、製作物品、実践レポート等

(5) 募集期間

平成29年7月3日(月)～9月29日(金)

応募の状況

[学校別内訳]	[前回]	
(1) 小学校 96点	[75点]	……… うち 県外 1 (東京都)
(2) 中学校 14点	[35点]	
(3) 高等学校 26点	[14点]	… うち 県内市外 18 (浜松学芸高、清流館高)
総計 136点	[124点]	

[分野別内訳]	[前回]	学校内訳	[前回]
(1) 医療・看護 8点	[2点]	小4 高4	[小2]
(2) 健康・福祉 21点	[31点]	小6 高15	[小15 中10 高6]
(3) 理科 91点	[74点]	小75 中12 高4	[小48 中21 高5]
(4) 環境 15点	[15点]	小11 中2 高2	[小8 中4 高3]
(5) その他(工学) 1点	[2点]	高1	[小2]

定例記者会見
平成30年2月14日
学務課

掛川市立千浜小学校 屋内運動場 落成イベントを開催します

この度、昨年5月より建設工事を進めてまいりました掛川市立千浜小学校屋内運動場が完成しました。つきましては、下記のとおり落成イベントを開催します。

記

日時 平成30年2月20日（火）午前10時 開式

会場 掛川市立千浜小学校 新屋内運動場内

内容 ○第一部 落成式

・市関係者（市長・副市長等）、議員（市）関係者、教育委員会関係者、学校関係者、区長関係者、建設関係者が出席します。

・挨拶

発注者式辞 管理者挨拶 来賓祝辞

○第二部 パフォーマンス（体操・運動）

・静岡産業大学体操部・千浜小学校児童によるパフォーマンス

事業の概要

- ① 目的 旧屋内運動場は、昭和48年に建設されてから約44年が経過し、内外装の老朽化や照明などの設備面でも支障があることから、改築を行う。
- ② 仕様
- | | |
|------|--|
| 総事業費 | 約3億8千万円（旧屋内運動場解体、跡地整備費等含む） |
| 事業期間 | 平成29年5月19日～平成30年1月31日
（解体・建設工事契約工期） |
| 建築面積 | 1,012.92㎡ |
| 延床面積 | 910.90㎡ |
| 構造 | 鉄骨造 平屋建て |

担当者名 学務課
岡本安広・樋口潤
電話番号 21-1155

千浜小学校新屋内運動場の特色

□コンパクト&千浜スタイル

- ・屋内運動場の機能を維持し、コンパクトにまとめた。
- ・緩いR形状屋根を採用することで、必要な高さを確保しつつ、日影の影響を抑えるなど周辺環境に配慮した。
- ・千浜地区は強い浜風の吹く遠州灘海岸に近い立地である。アリーナは強い浜風を受けて立つ「砂丘」を、玄関及び器具庫の外壁は強風から砂丘を守る「堆砂垣」をイメージし、この地区の特色を生かしたスタイルとした。

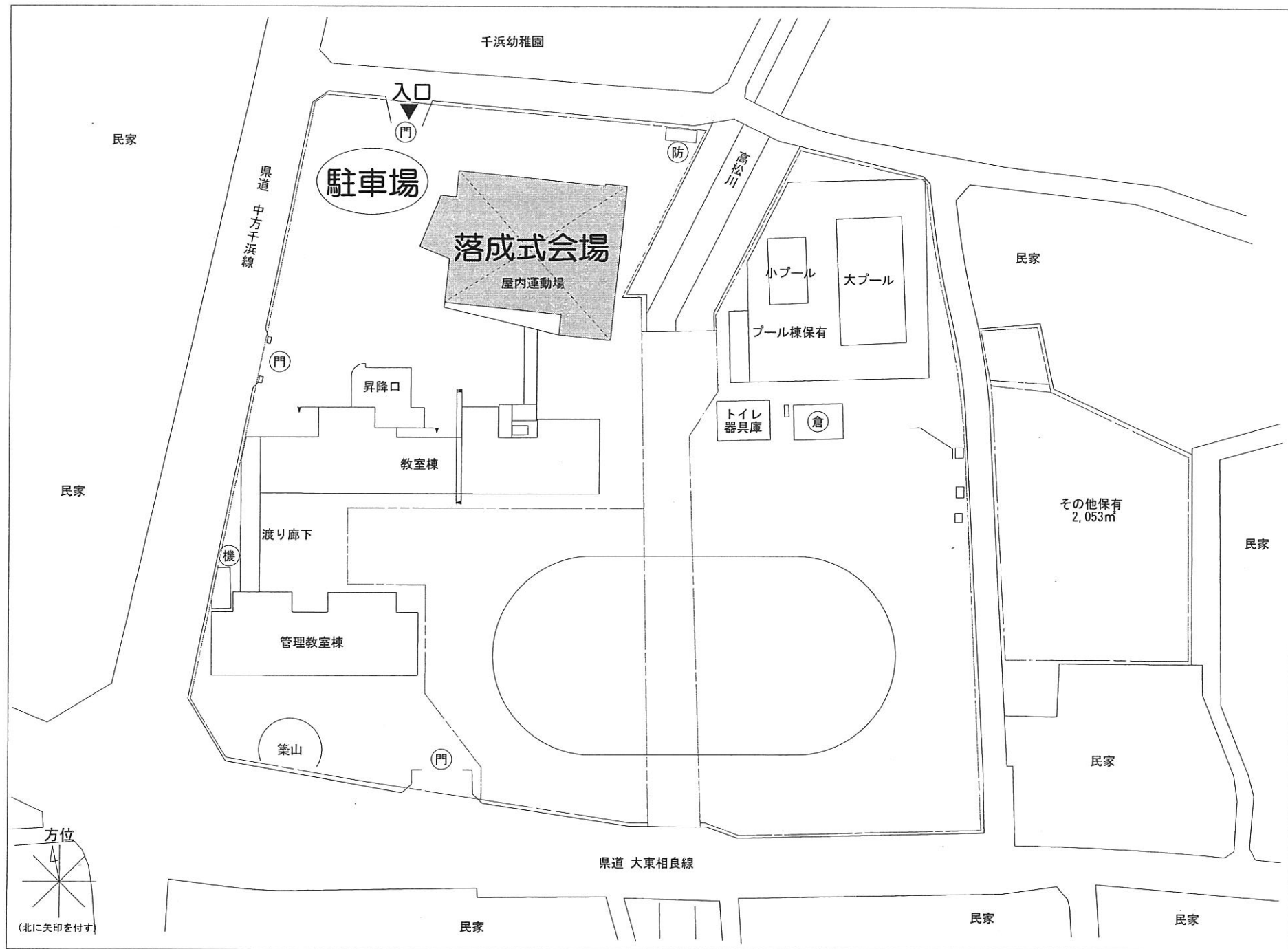
□よく遊びよく学ぶ屋内運動場

- ・屋内運動場（新設体育館）と北校舎の間に広場を設け、新設体育館のデッキスペースと一体的に利用できる計画としている。
- ・広場やデッキスペース、そして開口部を大きくした風と光を取り入れたアリーナで屋外で活動しているような空間とすることにより、千浜小学校の教育目標である「よく遊びよく学ぶ子」を育てることができる施設とした。

□避難施設としての活用

- ・災害時には避難所として迅速に機能するように耐震性の高い構造とした。
- ・天井、窓ガラス、照明器具等に落下防止対策等を行い非構造部材の耐震化に努めた。
- ・停電時、自家発電機を接続することで、最低限の照明、コンセントを使用できる計画とした。なお照明器具はLED照明を採用し、省電力化に努めている。

掛川市立千浜小学校屋内運動場 落成式案内図



環境を考える 市民の集い

～未来へつなごう 豊かな環境・美しい自然～

【とき】平成30年2月24日(土) 午前9時30分～午前11時40分
[開場9:00]

【ところ】掛川市生涯学習センター(掛川市御所原17-1)

環境問題は、温室効果ガスによる地球温暖化、生活排水による河川汚濁、
家庭からのごみの排出など、日常生活と密接に結びついています。

私たちの普段の生活を見直し、今すぐできることを一緒に考えてみませんか。



学習・活動発表



発表
1

原谷小学校

みんなの環境を
守ろう



私たち原谷小学校4年生は、総合的な学習の時間を中心に「みんなの環境を守ろう」と環境について学習してきました。原野谷川をはじめ、原谷地区には豊かな自然が広がっています。これまで原野谷川の生き物調査やパックテストをしたり、社会科見学では水やごみの処理について学習したりして、環境について考えてきました。環境を守るため調べてきたことを発表します。

発表
2

大浜中学校

地域とともにある
環境活動



大浜中学校では、地域とともにある学校を目指し、生徒、保護者、地域が一丸となり、環境活動に取り組んでいます。環境について学習するだけでなく、豊かな自然を守るために、地域とともに活動を継続していくことの大切さを、実践をととして学びました。その取組について発表します。

発表
3

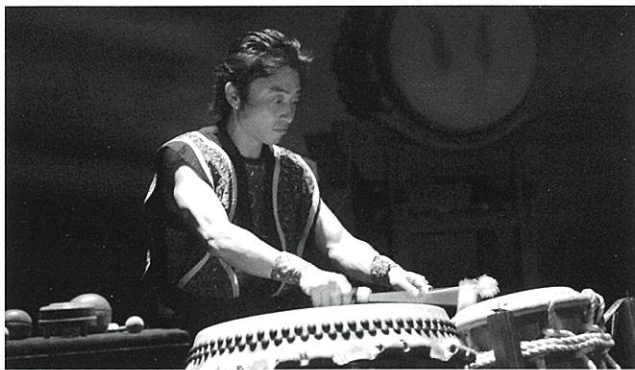
常葉大学

私たちは常葉大学経営学部の現代社会研究会です。経営学を学ぶ上で、企業を中心に「人間力」が重要視されていることに着目し、大学での学びを地域で実践することで自身の糧となるよう活動しています。活動は大学のある浜松市北区、掛川市、磐田市、県外を舞台に、ビジネスプランのフォーラムの開催、若者の政治への関心向上、県外の高校生の地域貢献活動応援など幅広く行っております。今回は会社と環境の結びつきを分かりやすく解説させて頂きながら、身の回りに溢れるエコ商品が、本当にエコであるのか？ということについて発表します。



公演
1

太鼓演奏家 岡田寛行



太鼓の演奏で国内外含めいろいろな所へ参ります。その土地に根付いた文化や歴史を直に感じる事ができて、それはとても偉大なものだと思います。さて、それらは自分たちの周りにある自然の恵もたらします。生物が生きていく中で自然を欠かすことは出来ませんが、その自然環境は今多くの問題を抱えています。これからもより良い我々の営みを続けていく為に、自分たちが出来ることを一緒に考えていきましょう。

プロフィール

掛川市在住。
掛川市原泉地区立「さくら咲く学校」に活動拠点を置き、国内外で演奏活動を展開中。
昨年6月より倉真地区の「森と報徳」を題材とした和太鼓演舞創作事業をプロデュースする。



エコネット・チャレンジ! 表彰式

◎主催／掛川市エコ・ネットワーク

NPO法人WAKUWAKU西郷、エコロジーライフ研究会
NPO法人とうもんの会、MOA自然農法小笠掛川普及会
上垂木ホテルを守る会、上屋敷ふる里創成の会
掛川市消費者協会、NPO法人時ノ寿の森クラブ
NPO法人おひさまとまちづくり、区長会連合会

◎協力／掛川市・掛川市教育委員会

お問合わせ

掛川市エコ・ネットワーク
TEL.0537-21-1218(環境政策課内)

会場案内図



木下コレクション

工芸品をたのしむ

〈煙草入れ・根付・印籠・櫛かんざしなど〉

2018年3月3日〔土〕-4月15日〔日〕

超絶！

ユニコール根付勢ぞろい！

《樽林コレクション》

手のひらにのる、
小さくてかわいいよ！



海獣イッカクの牙 2.5mm
公開しているぞ！

小さきものみな美し

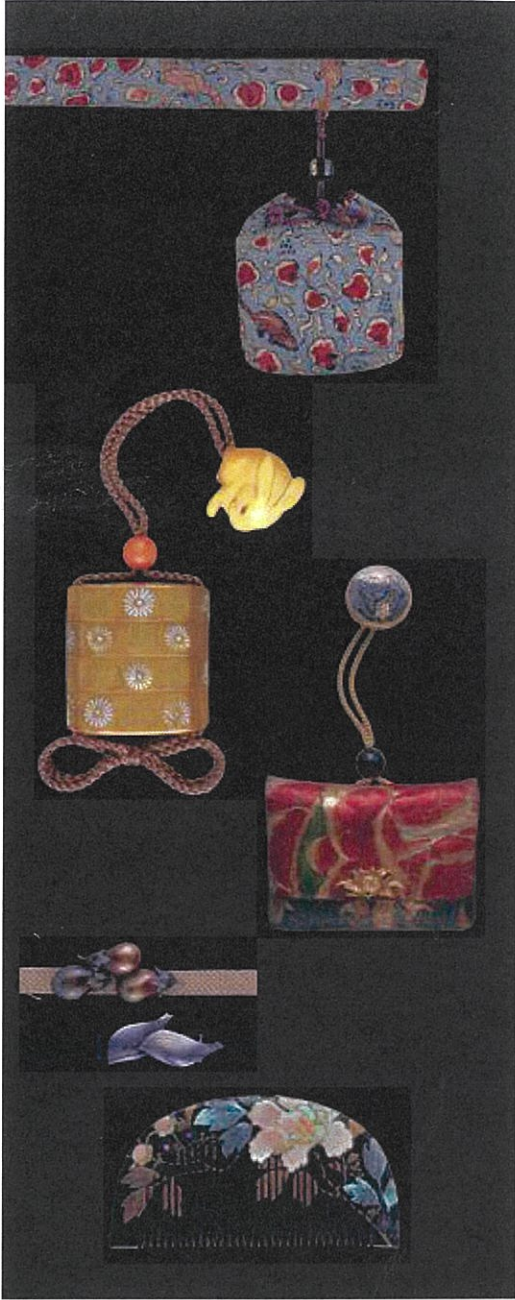
金唐革は
遠い海の向こう、
オランダからだよ！



すごいゾ！
たばこ入れには
夢ヒロマンが
いっぱいだ！

唯一無二！
これぞ職人技！！

木下コレクション大公開！



古来より日本人は、小さくて可愛らしいものに美を見出し、愛でる心を育み大切にしてきました。それは日常の道具に限らず、自然や小さな生物まで尊ぶ日本人の美意識の表れでもあります。本展はまさにその美意識の凝縮とも言えるべき、さまざまな“小さくて美しい小物たち”をご紹介します。

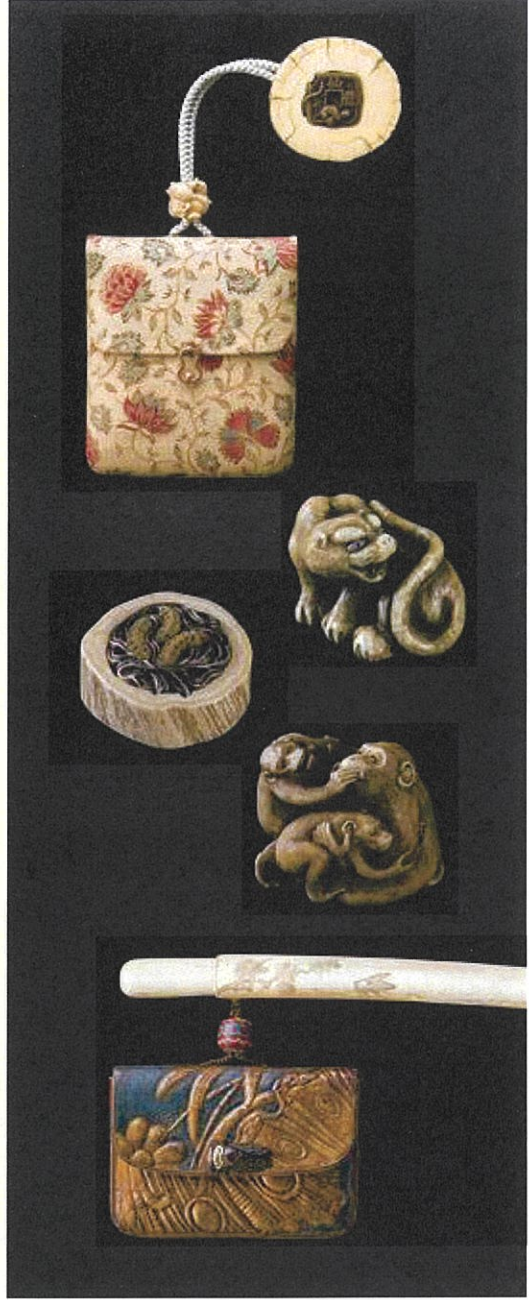
名前の通り“小物は小物”なのですが、江戸時代の「小物」は何といても美しい！そしてその造りはまさに超絶！日常の小道具にこれほどの贅を尽くし、当時の技術の粋を注ぎ込んだ作品は他には見られません。

また今回特別に、ウニコル根付約200点（樽林氏所蔵）も初公開いたします。希少性の高いウニコル作品が一堂に集結するまたとない機会です。掌に納まるほどの根付は実は全方位型、小さくても見所満載です。

生活の小道具から更に小さなミクロの世界「根付」まで、日本人の美意識をもって作られた宝飾品にも負けない美しい作品を選定いたしました。

“小さきものみな美しワールド”是非ご堪能下さい。

- | | |
|---|--|
| <p>左上段より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅葱地葡萄唐草粟鼠文更紗 腰差したばこ入れ ・菊文尽くし螺鈿時絵印籠 ・金唐革一つ提げたばこ入れ ・帯留（茄子・蓮花） ・芙蓉螺鈿時絵櫛 <p>〈すべて掛川市二の丸美術館蔵〉</p> | <p>右上段より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白地唐花文金更紗一つ提げたばこ入れ ・虎根付（銘 白龍） ・粟穂図鏡蓋根付（銘 東明） ・親子猿根付（銘 一光斎） ・金唐革腰差したばこ入れ <p>〈すべて個人蔵〉</p> |
|---|--|



ウニコルとは？

北極海に生息する一角鯨（イッカク）の別名。ユニコーンとも言う。このイッカクの牙をウニコルと呼び、江戸時代よりさまざまな工芸品の材や解熱薬としても用いられていた。牙本体はねじれた棒状の形態で、全長2.5mにおよぶものもある。現在は保護条例により捕獲制限。



ギャラリートーク

見て触れて楽しい根付ワールド！ ウニコル根付の魅力を語る

本物の根付を触ってみよう！実際に手にとってご覧頂けます。

講師：樽林美喜男氏（ウニコル根付コレクター） 場所：掛川市二の丸美術館 展示室
日時：3月11日（日）13:30～14:30 聴講料：本展観覧料（申込み不要）



- ◆観覧料＝一般200円（20名以上の団体2割引料金）、中学生まで無料、他施設との共通セット券もごさいます
- ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持する方とその介助者1名は無料
- ※しずおか子育て優待カード・掛川（株）バスポート・JAFカード利用可
- ◆開館時間＝午前9時～午後5時まで（入館は午後4時30分まで）
- ◆休館日＝毎週月曜日

主催（公財）掛川市生涯学習振興公社／掛川市
後援 掛川市教育委員会／静岡新聞社・静岡放送／中日新聞東海本社／郷土新聞社

次回展覧会のご案内
掛川市二の丸美術館20周年記念 「男も女も装身具－煙草入れと櫛かんざしの美」展
2018年4月21日（土）～6月24日（日）



- 交通案内
JR掛川駅より徒歩10分（掛川城公園内）
東名高速道路 掛川ICから車で10分
掛川バイパス 西郷ICから車で10分
- 駐車場
大手門駐車場（有料）、または掛川城公園駐車場（有料）をご利用下さい。
美術館横に身障者用駐車場（無料）がごさいます。

掛川市二の丸美術館
KAKEGAWA NINOMARU MUSEUM OF ART
〒436-0079 静岡県掛川市掛川11142-1
電話 0537(62)2061・ファックス 0537(62)2062
http://www.kakegawa-artpark.com/ninomaru

定例記者会見
平成30年2月14日
危機管理課

平成29年度 掛川市津波避難訓練について

統一スローガン 地震だ、津波だ、すぐ避難！～少しでも早く、少しでも高く～

1 趣 旨

津波の浸水域で暮らし、働く一人一人が先ずは自分の命を守るため、「強い揺れを感じたらすぐ避難」、「長い揺れを感じたらすぐ避難」、「津波に関する情報を聞いたらずぐ避難」の避難行動を実践し、すぐ避難する意識の定着と習熟を図る。

2 実施日

平成30年3月11日（日） 午前9：00～10：30

※津波対策推進旬間：平成30年3月6日（火）～3月15日（木）

3 対象地域

津波浸水域の住民、企業、津波避難協定締結企業

大東区域 【5自主防災会】	千浜東、千浜西、国浜、三浜、浜野
大須賀区域 【10自主防災会】	新井、中新井、浜、藤塚、雨垂、今沢 沖之須、西大淵、松尾町、西田町

4 想 定

駿河トラフから南海トラフを震源域とする大規模地震が発生し、市内は震度6強から7を観測。間もなく大津波警報が発表され、掛川市海岸部で最大13mの津波が襲来する。

5 重点事項

（1）避難行動の実践

住民は、「家庭の避難計画」により、地震が起きたらずぐ避難することを徹底し、住民誰もが率先避難者となる自覚を持って避難することにより、地震発生を合図にした即時避難を実践する。

（2）避難行動要支援者等への支援体制の検証

各自主防災会は、高齢者や障害のある方に対して、個別支援計画により適切な避難支援を行うなど、避難行動要支援者等の支援体制の検証を行う。

（3）情報収集体制の検証

デジタル無線機及び地域防災無線を使用し、各自主防災会から支部、更に本部への連絡体制を確認、情報収集体制の検証を行う。

6 概 要

（1）高齢者や子供も積極的に参加し、掛川市防災ガイドブック「家庭の避難計画」で決めた、避難場所等への避難の実践・検証を行う。

- (2) 津波浸水域の企業においては、津波対策推進旬間に従業員の避難訓練を実施。
また、津波避難協定を締結した企業においては、避難住民の受入・対応について確認を行う。
- (3) 連絡体制の検証
各自主防災会から、デジタル無線機により支部、更に地域防災無線による本部への連絡体制を検証する。
- (4) 津波避難点検シートによる検証
「津波避難点検シート」に記入、避難路の検証を行う。
- (5) ヒナンプスの活用
スマートフォンをお持ちの方は「ヒナンプス」を登録し、自分がいるところから一番近い避難場所を確認する。
- (6) 一部の避難場所において危機管理課職員による防災ミニ講座（15～20分程度）
- (7) 大東支所原子力防護設備稼働訓練

7 同報無線等

- (1) 津波警報の緊急速報メール配信・・・午前9時頃
- (2) 緊急地震速報、震度速報、大津波警報（Jアラート）・・・午前9時頃
- (3) 大津波警報解除の同報無線放送・・・午前10時ころ

8 訓練の縮小又は中止の決定

- (1) 南海トラフ地震に関連する情報(定例の情報を除く)が発表された場合、直ちに訓練を中止する。
- (2) 掛川市で震度4以上の地震が発生した場合及び気象警報(大雨、洪水、暴風、高潮)が発表された場合は、直ちに被害情報の収集を行い、訓練の続行、縮小又は中止を決定する。
- (3) 掛川市に津波警報、津波注意報が発表された場合及び震度5弱以上の地震が発生した場合、直ちに訓練を中止する。
- (4) 掛川市に雷注意報が発表された場合、状況により中止する。
- (5) その他災害事案が発生した場合、当該事案の状況により訓練を縮小または中止する。

9 その他

- (1) 市長、副市長にあつては、市内各対象地域の視察を行う。
- (2) 参加予定人員 約3,800人(平成28年度参加者数)

危機管理課 防災対策係 担当 戸塚篤義・平井良宏 電話：0537-21-1131
--

定例記者会見
平成30年2月14日
企画政策課

新幹線掛川駅開業30周年記念事業を開催します。

1 記念事業の位置づけ

昭和63年（1988）3月13日に開業した新幹線掛川駅は、本年度で30年を迎える。

新幹線掛川駅設置に至る取り組みと、掛川市が大きく発展するきっかけとなった同駅に感謝するとともに、今後の市のさらなる躍進を願い、新幹線掛川駅開業30周年の記念事業を実施する。

2 新幹線掛川駅開業30周年記念事業の概要

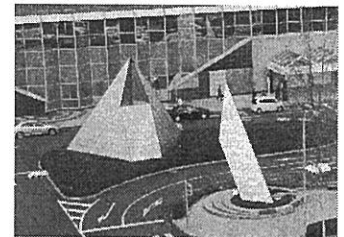
（1）お掃除大作戦

- ①日 時 平成30年3月11日（日） 8:30～10:00
- ②場 所 掛川駅周辺
- ③内 容 30年を迎える掛川駅に感謝を込め、市民ボランティアにより駅広場や各種モニュメントの清掃を行う。

（2）新幹線掛川駅開業30周年記念式典

- ①日 時 平成30年3月13日（火） 10:30～12:00
- ②場 所 掛川市役所
- ③内 容 ・元掛川市長 榛村純一氏による講演
・元東京学芸大学 学長
掛川駅木造駅舎を保存・活用する会
会長 鷲山恭彦氏による講演
・タイムカプセルの開封、披露

※開業時に駅南口広場のモニュメント「合体」の中に、駅南土地区画整理組合が納め、30年後に開封するとしたもの



（3）新幹線掛川駅開業30周年記念イベント

- ①日 時 平成30年3月17日（土） 9:00～12:00
- ②場 所 駅前通り
- ③内 容 同日開催のかけがわけっトラ市と連携し、賑わいを創出するイベントとする。掛川駅開業当時の写真やタイムカプセルを展示するブースなども設け、来場者に新幹線開業30周年を実感してもらおうイベントとする。

担当者名 深田貴子・山本邦一
電話番号 21-1127